



座・高円寺〔杉並区立杉並芸術会館〕は  
杉並区の公立劇場です

# 座・高円寺 劇場創造アカデミー ご案内と募集要項 2025年度

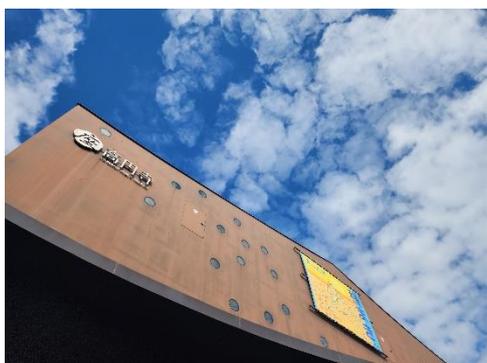
Za-Koenji Public Theatre / Creative Theatre Academy

(全日制／2年制)

2024年12月1日発行 / 2025年1月26日加筆

ようこそ劇場創造アカデミーへ

# 劇場で、生きる。 呼吸する。



## 劇場の未来へ

劇場創造アカデミーは、2009年に東京・杉並区の公立劇場、座・高円寺が開設した、未来に向けた「劇場人」の育成を目的とする2年制の演劇研修所です。毎日劇場に通いながら、演劇について「知り、考え、実践する」新しいカタチのカリキュラムを実施しています。



## 総合的な知識から応用や専門性の高いカリキュラムまで

研修1年目は、全員が〈実技〉〈講義〉〈演習〉の共通カリキュラムによる研修をおこない、劇場と演劇表現についての総合的な知識と経験を身につけます。2年目は、1年目のカリキュラムを応用した研修や、専門性を配慮した演技・演出・劇場環境ゼミによる研修をおこないます。



## 街の中にある公共劇場ならではの実践的な機会

劇場と地域をつなぐ事業（高円寺阿波おどり、びっくり大道芸、高円寺演芸まつり、座の市）に参加して、イベント運営の方法やプロジェクトマネジメントについて学びます。座・高円寺で上演されるさまざまな舞台芸術を観劇できるほか、研修2年目の最後には、自ら同じ舞台にたって、修了上演を行うなど、他に類を見ない劇場ならではの経験を積むことができる研修所です。

## カリキュラム・ディレクターからごあいさつ

### シライケイタ

座・高円寺芸術監督

演出家、脚本家、俳優



劇場は常に呼吸しています。それは一つの作品の命の息吹だったり、作品が産み出される前の胎動だったり、世界中から集まってくる才能たちのざわめきだったり、ここで遊びまわる子供たちの笑い声だったり、子連れでカフェに来るママ友たちの話し声だったり、脚本がかけなくてウンウン唸っている劇作家の唸り声だったり、課題発表のために懸命に練習しているアカデミー生たちの台詞の声だったり、そうしたたくさんの人たちの一切合切が交じり合った「生きる」ための呼吸です。

ここは「劇場の中」にある学校です。ここで一緒に呼吸してみませんか？二年間たっぷり芸術の空気を吸い込んで、世界に羽ばたいてみませんか？皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

シライケイタ（しらい・けいた）昭和 49（1974）年生まれ。蜷川幸雄演出『ロミオとジュリエット』のパリス役で俳優デビュー。その後、野田秀樹、木村光一、鐘下辰男など、数々の演出家の舞台に出演。平成 22 年、劇団温泉ドラゴン旗揚げ公演に、自らの初戯曲となる『escape』を提供。以降、同劇団内外で数々の脚本・演出を手掛ける。2013 年、文化庁・一般社団法人日本演出者協会主催「若手演出家コンクール 2013」にて優秀賞と観客賞を受賞。2017 年、第 25 回読売演劇大賞において杉村春子賞を受賞。日本演出者協会理事長。日韓演劇交流センター会長。2023 年より座・高円寺芸術監督。

# カリキュラム

1年目の カリキュラム	基礎課程	2年目の カリキュラム	専門課程
----------------	------	----------------	------

研修生全員が同一のカリキュラムを受講します。演劇や劇場に対する基本的な考え方を身につけ、俳優とスタッフが互いの役割を理解し合うことが目的です。

実技では、台本の読み方、役へのアプローチ方法をはじめ、能や合気道など伝統的な身体技法、ダンスや台詞に頼らない身体表現方法まで、様々な演技手法を学びます。

講義では、国内外の最先端の舞台作品から伝統演劇まで幅広く舞台芸術について学ぶ一方、劇場の社会的な役割を基礎知識や最新の傾向、第一線の仕事等と共に理解を深めます。

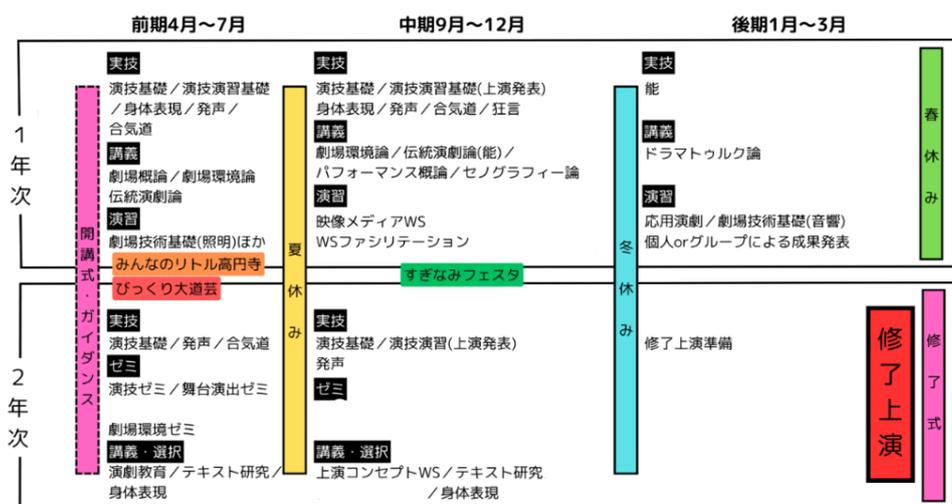
一年の締め括りには、研修生自身の問題意識をもとに企画を立て、その成果発表を行います。

研修生全員が受講する共通のカリキュラムの他に、演技・舞台演出・劇場環境、いずれかを選択し、ゼミ形式の授業を行ないます。1年目の研修を基礎に、それぞれの分野で活動していくための知識と技術を学ぶことが目的です。

ゼミでは、各現場における具体的な作業の指導とともに、各々の作業の前提となる考え方が身につくような授業を行います。

共通カリキュラムでは、公共劇場をはじめ、劇場という場に関する理解を深めるために演劇的手法を応用したアプローチや運営方法、さらに〈劇場人〉としてさらに広く活動してゆく為に必要なスキルや知見を学びます。

スタジオ・パフォーマンスを行う「演技演習」のほか、全国各地の劇場にフィールドワークをおこなう社会デザイン的な分析をする「劇場環境実践論」などがあります。



※上記以外に特別授業や劇場研修があります。  
 ※授業時期は上記とは異なる場合があります。

# 1年目の主なカリキュラム

**【実技】** ※カリキュラム及び講師は年度によって異なる場合があります。

## 演技基礎 I

稽古方法と、稽古場に関する昨今の舞台芸術における課題を例にあげながら、創作に入る前の準備方法について個々の資質に合わせてじっくり向き合っていきます。

講師：竹中香子（プロデューサー・俳優・日仏通訳・演劇教育）

## 演技演習基礎 II \*上演発表あり

俳優の演技の基本となる方法論、基礎技術の習得を目的とした演習です。

講師：日澤雄介（演出家、俳優、劇団チョコレートケーキ主宰）

## 身体表現 II

台詞に頼らない身体表現を探します。自分から発せられるものと自分の感覚との誤差、自分のイメージする動きを再現出来る身体、止まれる身体など自由な身体を探ってゆきます。台詞に頼らない身体表現を探します。

講師：小野寺修二（演出家、振付家、カンパニーデラシネラ主宰）

## 合気道

仕手（技を掛ける）と受け（技を受ける）を通して基本動作を稽古します。円滑な身体運動能力とともに、自己を律すること、相手に向き合う精神を学びます。（\*二学年合同授業）

講師：清水健太（天道流合気道天道館道場長）

## 発声 I

「腹式呼吸による発声」「歌を楽しんで歌う」「自分で歌を作る」「身体を動かしながら声を出す」ということを軸に、ワークショップ形式で行います。

講師：伊藤和美（ヴォイストレーナー）

## 発声 II

基本的な考え方を換え、自分で自分の声や呼吸の状態を把握できるようになること＝トラブルの事前回避・役作りへの反映が出来ることを目的とします。（\*二学年合同授業）

講師：新田恵（ヴォイストレーナー）

## 応用演劇 WS

人々と演劇の関係性を拡張し、演劇のもう一つの可能性を探求する領域とも言える応用演劇について、ここではその広がりを知り、特に代表的な思想であり方法論である「被抑圧者の演劇」について、一部実技を伴う形で考察します。

講師：花崎攝（シアター・プラクティショナー）

## 能

能において身体はどのように使われるのでしょうか。身体の中の、左と右、前と後ろ、上と下、内と外、骨と肉、面(めん)と面(つら)など、対の要素が、それぞれにブレーキとアクセルを同時に踏み込んで、舞台の星間物質となり、波動が送られ、男と女、神と鬼、彼岸と此岸などに、また対します。

講師：清水寛二（能役者）

※上記以外にも開講予定。

## 【講義】

### パフォーマンス概論

現代演劇、ダンスなど、パフォーマティブな芸術活動についての概要を学びます。古代ギリシアのトラゲディア・コメディから現代演劇までの、さまざまな演劇の実態について、現代演劇の具体的な事例を紹介しつつ分析・解析してゆきます。

講師：内野儀（演劇批評家、学習院女子大学教授）  
佐々木敦（思想家、HEADZ 主宰、文学ムック「ことばと」編集長）

### 伝統演劇論

前代の文化を根絶やしにしない。そこにこそ日本人と日本人の美意識がある。日本と日本人が守り、育ててきた伝統芸能の「歌舞伎」を中心に、日本人にとって「伝統芸能」とは何か、何をもちたってきたのかといったことを考えます。

講師：犬丸 治（演劇評論家）

### 劇場環境論

劇場運営・経営に欠かすことのできない環境としての「公共性」を意識することをめざします。ゲストスピーカーによる具体的な現場実践事例の紹介、受講者との質疑等を通じて「知の再編集」を試みてゆきます。

講師：中村陽一（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）

※上記以外も開講予定。講義については、一部公開講座として一般の方にも公開します。該当の講座については、実施前に HP でお知らせ致します。

### 映像メディア WS

舞台芸術と映像、デジタルテクノロジーを組み合わせることで、どのような演出効果を生み出すのかを、作品の事例を映像で見ながら、映像やテクノロジーを使う演出意図を探り、作家性、作品の強度といった普遍的なテーマを追求します。

講師：飯名尚人（映像作家、Dance and Media Japan 主宰）

### 演劇概論

日本の演劇に圧倒的に足りないと思われる、歴史と理論の二つに主眼をおいて行います。歴史という言説がなぜ、いかに立ち上がっていったのかを、実践へと介入するための理論を構築するために行います。アジア、革命、アヴァンギャルド、実験、民衆、在日、LGBT など様々なテーマを元に歴史を読み込んでいきます。

講師：高橋宏幸（演劇批評家、桐朋学園芸術短期大学演劇専攻准教授）



## 2年目の主なカリキュラム

**【ゼミ】 主な授業** ※カリキュラム内容及び講師は年度によって異なる場合があります。

### 演技ゼミ

2024年度より内容を変えて開講。第一線の現場で求められる演技術について、丁寧に向き合うゼミを予定しています。

講師：シライケイタ（演出家、脚本家、俳優）

### 舞台演出ゼミ

舞台表現における「演出」の意味を、舞台芸術の再定義という観点からとらえ直すとともに、演出における実際的な作業工程を知り、体験する演習です。

講師：松本修（演出家、俳優）

### 劇場環境ゼミ

非営利組織のマネジメントに関する文献講読を軸に、発表とディスカッションを行うとともに、劇場法など劇場環境をめぐるトピックについて討議し、提言をまとめます。

講師：高宮知数（マーケティング・プロデューサー）



### **【演習】**

#### 劇場環境実践論

“公共性”という概念に焦点を当てた授業を展開します。公共性が展開する場となる“公共圏”の新たな担い手として現代社会に登場した社会的諸組織（NPO/NGO、ボランティアな市民組織など）に着目し、それらを含んだ地域社会のなかで劇場という場を持つ意味と可能性、課題を考察します。

講師：中村陽一（社会デザイン学会会長、青森中央学院大学特任教授）

#### [フィールドワーク]

社会デザインの視点から劇場運営や表現活動を考える授業「劇場環境実践論」（講師・中村陽一）の一環として、夏休み中（7月から8月）地方の公共施設の見学。2019年度は、京都市にて各劇場を訪問見学、2023年度は静岡県舞台芸術センター（SPAC）にて開催。2024年度は東京芸術劇場を見学。

### **【修了上演】**

舞台芸術の専門家を目指し、座・高円寺で2年間学んだ「劇場創造アカデミー」の生徒たちによる学びの集大成として、座・高円寺の主催公演として、修了上演を行います。修了上演を終えたアカデミー生は、俳優としてさらに活動の幅を広げたり、劇団を結成し独自の活動を始めたり、あるいは劇場スタッフとして活躍したりと、劇場創造アカデミーで培った力を発揮し国内外で活躍し続けています。

# 主な講師

※カリキュラム及び講師は年度によって異なる場合があります。

## ■演技ゼミ

シライケイタ(しらい・けいた) 演出家、脚本家、俳優  
2010年、自らの初戯曲となる『escape』を上演し、劇団温泉ドラゴン旗揚げ。以降、同劇団内外で数々の脚本・演出を手掛ける。座・高円寺芸術監督。日本演出者協会理事長。日韓演劇交流センター会長。

## ■舞台演出ゼミ

松本修(まつもと・おさむ) 演出家、俳優  
1955年、札幌市生まれ。文学座の俳優を経て、89年に演劇集団MODEを設立。チェーホフ、ペケット、ワイルダー等の海外戯曲を独自のワークショップで再読・再構成し上演。2000年代はカフカの小説を多数舞台化している。

## ■演技演習基礎

日澤雄介(ひさわ・ゆうすけ) 演出家、俳優、劇団チョコレートケーキ主宰  
2000年に劇団チョコレートケーキを旗揚げ。2010年より演出としても参加し、現在に至るまで劇団全作品の演出を務める。俳優に飾らせないストレートな演出は、淡々としながらも濃厚な作品世界を体感できる空間を打ち出す。2014年、2018年、2022年に読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。

## ■演技基礎

竹中香子(たけなか・きょうこ) プロデューサー、俳優、日仏通訳 演劇教育  
日本人としてはじめてフランスの国立高等演劇学校の俳優セクションに合格。フランス俳優国家資格とフランス演劇教育者国家資格を取得。パリを拠点に、フランス国公立劇場を中心に多数の舞台に出演。主な出演作に、市原佐都子作・演出『妖精の問題』『Madama Butterfly』『Madame Chrysanthemum』、太田信吾作・演出『最後の芸者たち』。

## ■身体表現

小野寺修二(おののでら・しゅうじ) 演出家、振付家  
1995年パフォーマンスシアター「水と油」を結成。全作品の構成演出に関わる。2008年から「カンパニーデラシネラ」を主宰。振付家・パフォーマーとして活動の場を広げている。

## ■発声Ⅰ

伊藤和美(いとう・かずみ) ヴォイストレーナー  
演劇やオペラのスタッフを務める傍ら、06年まで「時々自動」に作曲、パフォーマーとして参加。05年度文化庁派遣在外研修生として1年間渡英。現在、新国立劇場演劇研修所講師。

## ■発声Ⅱ

新田恵(にした・めぐみ) ヴォイストレーナー  
国立音楽大学声楽科卒。オペラ、ミュージカル、ミサ曲、レクイエム等の宗教音楽、ベートーベンの第九のソリストを務める。スーパーエキセントリックシアター、青年座、東宝芸能、加藤健一事務所、多摩美術大学、舞台芸術学院等で歌唱指導及び後進の指導にあたる。現在、東京アニメーションカレッジ専門学校、すみだ水族館、新江ノ島水族館などで講師を担当。

## ■能

清水寛二(しみず・かんじ) 能役者  
1953年生まれ。銚仙会会員。山本順之・観世寿夫・八世観世鏡之丞・九世観世鏡之丞らに師事。佐藤信演出・Danny Yung演出『The Spirits Play 霊儀』などにも参加。2018年「青山実験工房」を始める。東京藝術大学非常勤講師。

## ■合気道

清水健太(しみず・けんた) 天道流合気道天道館道場長  
管長の清水健二は合気道創始者植芝盛平氏の内弟子として修行後1969年に独立。1982年に天道流合気道を創設。後進の育成・指導にあたりとともに、ドイツなど海外でも合気道の普及に務める。

## ■応用演劇WS

花崎攝(はなさき・せつ) シアター・プラクティショナー  
黒テントを経て2010年から1年間渡英、応用演劇の理論と実践を学ぶ。障害のある人たちとの演劇活動、先住民の若者と環境を考えるプロジェクト(フィリピン)など国内外で継続中。演劇は具体的に人々をつなぎ、一緒に課題を見つめて表現し伝え合う媒体であると考えている。

## ■劇場技術論基礎Ⅰ(照明) \*LDC-J会員で担当

※本講座講師はLDC-J(ライティング・デザイナーズ・クラブ・オブ・ジャパン)会員が務めます  
齋藤茂男(さいとう・しげお) 照明家、LDC-J会員  
演出家の佐藤信や串田和美、白井晃等との仕事多数。劇場創造アカデミー第1期修了上演から携わる。主な作品に『リア』(佐藤信)、『マハゴニー市の興亡』(白井晃)、『メトロポリス』(串田和美)など。

服部基(はっとり・もと) 照明家、LDC-J会員  
こまつ座をはじめ演劇、ミュージカル、オペラ、能とひろく舞台照明を手がける。

## ■劇場技術論基礎Ⅱ(音響)

藤田赤目(ふじた・あかめ) 舞台音響  
名古屋市出身。北村想、竹内統一郎、生田萬、岩松了、鄭義信、渡辺えり、松尾スズキら、現代演劇の音響プランの仕事が多い。日本舞台音響家協会理事。

## ■映像メディアWS

飯名尚人(いいな・なおと) ダンス・アンド・メディア・ジャパン主宰  
映像作家、演出家、ドラマトウルク、プロデューサーとして幅広く活動。映像作家として佐藤信『The Spirits Play 霊儀』『リア王』、川口隆夫『a perfect life』に参加。ドラマトウルクとして川口隆夫『大野一雄について』『Touch of the other』に参加。演出家として『ASYL』『熱風』などジャンル横断的作品を演出。メディアテクノロジーとダンスを融合するプロジェクトを推進するためDance and Media Japanを設立。国際ダンス映画祭プロデューサー。東京造形大学、京都精華大学で教える。

### ■演劇概論

高橋宏幸（たかはし・ひろゆき）演劇批評家、桐朋学園芸術短期大学演劇専攻准教授

岐阜県生まれ。編著に『国を越えてアジアの芸術』。「図書新聞」、「テアトロ」にて舞台評の連載。評論に「プレ・アンダーグラウンド演劇と60年安保」、「原爆演劇と原発演劇」など多数。

### ■パフォーマンス概論

内野儀（うちの・ただし）演劇批評家、学習院女子大学教授  
日米の現代演劇を中心に、研究批評活動を展開。著書に『メロドラマの逆襲』『メロドラマからパフォーマンスへ』『Crucible Bodies』『J演劇』の場所』など。

佐々木敦（ささき・あつし）思想家、HEADZ 主宰、文学ムック「ことばと」編集長

芸術文化の複数ジャンルで長年にわたり批評活動を展開。2020年には『これは小説ではない』『それを小説と呼ぶ』『小さな演劇の大きさについて』など五冊の著書を刊行。

### ■伝統演劇論

犬丸治（いぬまる・おさむ）演劇評論家

「読売新聞」「テアトロ」等に歌舞伎劇評を執筆。2020年より読売演劇大賞選考委員。著書に「平成の藝談—歌舞伎の真髄にふれる—」（岩波新書）など。歌舞伎学会副会長。

### ■演技論史

横山義志（よこやま・よしじ）ドラマトウルク・舞台芸術研究

パリ第10大学演劇科で博士号取得。SPAC-静岡県舞台芸術センター文芸部、学習院大学非常勤講師。30カ国以上を視察し、次代の舞台芸術の枠組みを考えるため、西洋演技論史を執筆中。

### ■劇場環境論

中村陽一（なかむら・よういち）立教大学名誉教授、東京大学特任教授、社会デザイン学会会長

80年代半ばより市民活動・NPO/NGOの実践的研究、基盤整備、政策提言に取り組む。民学産官協働によるまちづくり、社会デザインの専門家としてSB/CB、CSR、SDGs、ESG投資等をカバー。ニッポン放送「おしゃべりラボ〜しあわせ Social Design」パーソナリティ。ジャズライブでのリーディングや演劇プロデュースも。東京芸術劇場運営委員。専門分野は、社会デザイン学、ソーシャルビジネス、コミュニティデザイン、NPO/市民活動論他。

### ■劇場環境ゼミ

高宮知数（たかみや・ともかず）マーケティング・プロデューサー

広告代理店マーケティング部門、シアターアプルプロデューサーを経て独立。久留米シティプラザ初代館長、パルテノン多摩大規模改修/再開館に関する多摩市アドバイザー等を務める。立教大学社会デザイン研究科兼任講師。NPO 法人文化の居場所研究所代表理事。

### ■企画制作実習

植松侑子（うえまつ・ゆうこ）制作者、合同会社 syuzgen 代表社員

フェスティバル/トーキョー制作、制作統括を経て、フリーランスの制作としてさまざまな劇場・組織・劇団と協働。舞台芸術の制作者人材育成と雇用環境整備のための中間支援組織「NPO 法人 Explat」の立ち上げにも関わり、現在理事長も務める。

### ■特別授業ほか

（2024年12月1日現在）

## 受講生特典

■座・高円寺の主催・提携公演の、舞台稽古（ゲネプロ）または本公演（年間30作品程度）を無料で観劇することができます。※レポート提出あり

■日本劇作家協会が主催する「戯曲セミナー」（年30回程度）に、聴講生として参加することができます。

※アカデミー1年目対象、人数限定、添削授業への参加は不可。参加者は運営の手伝いもします。

※特殊な事情による変更、オンライン開催になった場合はこの限りではありませんので、ご了承ください。

■修了後も学び直しをしたい時は、アカデミーの授業を単科受講することができます（有料）。

※受講科目限定。事前申し込みが必要です。

## その他の活動やイベント

来場者に直接関わりながら働くフロント・スタッフや、2階のカフェでの接客の体験、地域のみなさんと一緒に盛り上げる高円寺の恒例行事「高円寺びっくり大道芸」や「高円寺演芸まつり」、劇場開館から続く子どもたちを軸としたプログラム「みんなの作業場」（ワークショップ）、「絵本の旅@カフェ」（絵本の読み聞かせ）、劇場を子どもたちの遊び場に変身させるゴールデンウィークの「みんなのリトル高円寺」、生活と劇場をつなぐ「座の市」（フードマーケット）などに参加することで、地域の中の劇場の役割について、実際にその中に身を置きながら考える機会としています。※一部授業として参加する場合があります。



↑地下3階 けいこ場前ラウンジ



↑みんなの作業場



↑高円寺びっくり大道芸



↑11月/すぎなみフェスタ



↑みんなのリトル高円寺

## これまでの修了生の活躍先

劇場開館の2009年に開講し、これまで200人を超える修了生がここから羽ばたき、全国各地の現場で活躍しています。舞台芸術の可能性を磨き、実践、挑戦する「劇場人」の育成をめざした「あしたのための演劇学校」。

あなたの一歩も、ここから踏み出してみませんか？

### 【公共劇場／ホール】

- いわき芸術文化交流館アリオス
- 久留米シティプラザ
- 座・高円寺
- たちかわ創造舎
- 東京芸術劇場
- あかがねミュージアム
- とよはし芸術劇場PLAT ほか

### 【座・高円寺】

- 修了上演/CTA ラボ
- 主催公演「ピン・ボン」「ふたごの星」「フランドン農学校の豚」（出演・スタッフほか）

### 【結成団体・ユニット】

- 亜細亜の骨（台湾）
- 演劇ユニット noyR
- ゲッコーパレード
- 劇団ドクトベッパズ
- さながら
- Plant M（大阪）
- BEBERICA theatre company（京都）
- 回人回製作所
- カハタレ
- 三人之会
- 人間の条件
- あくびがうつる ほか

## 座・高円寺 劇場創造アカデミー2025年度生（第15期生）

## 募集要項

【応募期間】 2025年1月6日（月）～2025年3月14日（金）申込書類必着

※1次募集日程、2次募集日程ではそれぞれ必着日が異なります。御注意ください。

1次募集日程 **2月5日(水)必着** / 2次募集日程 **3月14日(金)必着**

◆募集内容：1年次（15期生） 20名 ※2年次からの募集はありません

◆授業期間 2025年4月～2027年3月 夏期・冬期・春期休暇あり

※基本的に2年間はアカデミーでの学びに専念してください。

入学前から決まっていた仕事や、キャリアに通じる仕事への参加などについては、その都度、ご相談ください。

◆授業時間 月曜日～金曜日 10時～12時／13時～15時（1日2コマの授業を受講）

※授業課題で自主稽古を行う場合は、15時～18時にけいこ場が利用できます。

◆授業場所 座・高円寺 けいこ場（地下3階） 阿波おどりホール（地下2階）、天道館（三軒茶屋）他

※劇場外での授業の場合、交通費は自己負担となります。

◆入学金・受講料

1年次 入学金 50,000円・受講料 300,000円

2年次 受講料 300,000円

※受講料納入は、年次ごとに「一括払い」「分割払い（要誓約書の提出・支払い回数制限あり）」を選択することができます。なお2回払い以上は、回数×1,000円の手数料が発生します（別途振込手数料）。

【杉並区民割引】 杉並区在住の方を対象に、1年目受講料の20%を免除いたします。

2025年度アカデミー入所時に、杉並区に住民票がある方が対象になります。入学手続き時に住民票の写しを添えてご提出ください。

授業は全て日本語で行います。外国籍の方の場合、研修期間中の日本滞在許可が取得出来ることが応募条件となります。

## 【応募に伴う募集説明会行います】

カリキュラム・ディレクター シライケイタによる募集説明会&授業見学会

●オンライン 2024年12月15日(日) 10時30分～12時

●劇場稽古場&授業見学会 2025年1月22日(水) 10時～12時

※上記以外にもアカデミー担当によるオンライン説明会を行います。

詳細はホームページを御確認ください。

## 申込手続き

※1次募集日程、2次募集日程の申込手続き・選考過程は同じです。

※“受験申込書”の上部にある二次審査希望日を○で囲んでください。

### 【応募に必要な書類】

- 1) 受験申込書(写真添付)
- 2) 作文「10年後のわたし」のテーマで800字以内(A4横書き)
- 3) 受験料振込の控えのコピー

※提出いただいた書類は返却いたしません。

[受験料] 5,000円

[受験料振込口座] 三菱東京UFJ銀行 高円寺支店(155) 普通 0007045  
特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク 座・高円寺  
トクヒ□ゲキジョウソウゾウネットワーク□ザコウエンジ

※受験者ご本人の名前でお振り込み下さい。受験料の納入は、申込書類の必着日を考慮して手続きを行ってください。  
お振込いただいた受験料は、受験をとりやめた場合でも返金いたしません。

[申込書類送付先] 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 座・高円寺 劇場創造アカデミー担当  
※書留など記録の残る方法でご送付ください。

[応募期間] 2025年1月6日(月)～2025年3月14日(金) 必着

※1次募集日程、2次募集日程ではそれぞれ必着日が異なります。御注意ください。

1次募集日程 2月5日(水)必着

2次募集日程 3月14日(金)必着

### [選考過程]

一次審査(書類選考) 選考結果:1次募集日程 2025年2月7日(木)通知予定  
2次募集日程 2025年3月16日(日)通知予定

↓

二次審査(筆記試験・実技試験あり) 会場:座・高円寺(両日共)

選考日:1次募集日程 2025年2月16日(日)10:00～14:00

2次募集日程 2025年3月25日(火)13:00～15:00

結果通知:1次募集日程 2月18日(月)に通知予定。

2次募集日程 3月27日(木)に通知予定

※合格者には、合格通知とともに入学手続きに必要な書類を郵送します。

#### ●2025年度生募集に関するお問合せ

座・高円寺 劇場創造アカデミー担当: 本田千恵子

Tel. 03-3223-7500 / Fax. 03-3223-7501 / Mail. academy@theatre-koenji.jp

HP: <https://za-koenji.jp/academyhp/>

主 催 … NPO 法人劇場創造ネットワーク／座・高円寺

提 携 … 東京学芸大学教育学部

協 力 … 一般社団法人日本劇作家協会 公益社団法人日本照明家協会

公益社団法人日本舞台音響家協会 いわき芸術文化交流館アリオス

まつもと市民芸術館 伊丹市立演劇ホール(アイホール) 北九州芸術劇場

後 援 … 杉並区